様式第１号（第４条関係）

津山市地域づくり応援事業補助金交付申請書

平成**３１**年**４**月**１**日

　津山市長　　　　　　殿

申請者

支部名　**津山市連合町内会〇〇支部**

所在地又は住所　 **津山市〇〇１－１**

代表者氏名　**支部長　津山 太郎**　㊞

　津山市地域づくり応援事業補助金の交付を受けたいので，津山市地域づくり応援事業補助金交付要綱第４条の規定により，関係書類を添えて次のとおり申請します。

１　交付申請額　　　　**２５０，０００**　　　円

２　添付書類

　⑴　事業計画書（様式第２号）

　⑵　収支予算書

　⑶　その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

様式第１－１号（第４条関係）

津山市地域づくり応援事業補助金交付申請書

平成**３１**年**４**月**１**日

　津山市長　　　　　　殿

申請者

支部名　**津山市連合町内会〇〇支部**

所在地又は住所　 **津山市〇〇１－１**

代表者氏名　**支部長　津山 太郎**　㊞

　津山市地域づくり応援事業補助金の交付を受けたいので，津山市地域づくり応援事業補助金交付要綱第４条の規定により，関係書類を添えて次のとおり申請します。

１　交付申請額　　　　**１０，０００，０００**　円

２　添付書類

　⑴　地域振興計画の素案

　⑵　前号の地域振興計画の素案に基づく事業計画書

　⑶　収支予算書

　⑷　地域運営組織の規約

　⑸　その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

様式第２号（第４条関係）

**事　業　計　画　書**

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 月 | ４ | ５ | ６ | ７ | ８ | ９ | １０ | １１ | １２ | １ | ２ | ３ |
| 内容 |  |  | 勉強会の実施資源と課題の共有アンケート作成・配布アンケート回収・集計 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

　※記入項目：地域づくりについての取り組みスケジュールをご記入ください。

|  |
| --- |
| **新規・継続の別**　　新規 ・ 継続 （1年目） |
| **◆主な事業区分　※該当する□に✔してください。****□** 地域づくりについて地域内の合意形成や勉強会の実施、課題の掘り起こし等　**□** 地域課題の掘り起こしや、住民ニーズに対応した地域未来ビジョンの策定等　**□** 地域未来ビジョンに沿った地域づくりに向けての試行的実践等　**□** その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| **◆地域の現状**　地域内では高齢者のみの世帯が増え、若い世代は日中は家を不在にしがちであり、近所同士での交流も少なく互いの顔が見えづらい状況である。 |
| **◆事業の目的と、今年度の取り組み内容**[目的]地域内での高齢者世帯は増加傾向にあり、地域のつながりは希薄化している。事業に取り組むことで、地域の課題だけでなく地域の魅力も併せて掘り起こしを行い、地域に誇りをもち相互に助け合いながら安心・安全に暮らせる地域を目指す。[内容]地域のつながりを再構築するため、「地域づくり」とは何か、なぜ住民主体での取り組みが必要かを勉強し、地域全体での地域づくりに向けた土壌を醸成する。 |
| **◆期待される効果**　事業を開始することで、地域の将来について協議する場と仲間づくりに繋がり、地域内のつながりを再構築する環境を整えられる。また、地域住民のニーズ調査を行うことで、その結果を基に今後の活動の指針となるビジョン（計画）につなげられ、課題や特色を活かした取り組みが展開できる。 |
| **◆連携が期待される団体**　民生委員、愛育委員、消防団、青壮年会、老人会、婦人会、子供会、PTA等 |

**◆小地域ケア会議の現状と今年度の活動予定**（該当年度4月1日現在）

|  |
| --- |
| **□** 設立済（設置年度　平成２８年度）　　**□** 未設立[現状]　独居高齢者は自宅に引きこもりがであり、地域とのつながりが希薄になりつつある。[活動内容]　独居高齢者や高齢者世帯を孤立させないよう、支部範囲での多世代交流事業を１１月頃に実施予定。参加者で簡単なゲームを行い、その後地域野菜の根菜汁等を一緒に食し交流を図る。[期待される効果]　これまで「見たことはあるけど話したことはない」地域の方や、久しぶりに会う方と交流することで、互いに存在を意識しあう雰囲気づくりにつながる。 |
| 月 | ４ | ５ | ６ | ７ | ８ | ９ | １０ | １１ | １２ | １ | ２ | ３ |
| 内容 |  |  |  |  |  | 多世代交流事業準備、実施 |  |  |  |  |  |  |

**◆自主防災支部の現状と今年度の活動予定**（該当年度4月1日現在）

|  |
| --- |
| [範囲]　※該当する**□**に✔してください。**□** 支部全体で取り組み　**□** 各町内会別での取り組み（構成町内会全て）町内会数：６[現状]　日中不在がちな家庭も増え、高齢者のみの世帯も多い。何かあった場合、誰が何をするのか、また自分にできることはあるのかもわからない現状である。[活動内容]・〇〇町内会：消防団と連携し、子供から高齢者までの多世代での消火訓練（9月頃）・〇△町内会：バケツリレー等での初期消火や、簡易担架の作成（10月頃）・△□町内会：消防署職員による防災・防犯の講話（6月頃）・□〇町内会：災害を想定し、各自で避難場所までの所要時間を確認と炊き出し訓練（11月頃）・□□町内会：町内の消火栓を確認し、消防団による消火栓への消防ホースの接続訓練（7月頃）・△△町内会：地震を想定した避難訓練を行い、避難所までの危険箇所の確認（3月頃）[期待される効果]　個別町内会できめ細やかな取り組みを行うことで、住民一人一人の防災・防犯意識を高めるとともに、何かあった場合でも、地域内での自助または共助により対応できることが増えていく。 |
| 月 | ４ | ５ | ６ | ７ | ８ | ９ | １０ | １１ | １２ | １ | ２ | ３ |
| 内容 |  |  |  |  | △□町内会□□町内会〇〇町内会〇△町内会□〇町内会△△町内会 |  |  |  |  |  |  |  |

注) ・各項目について、具体的にご記入ください。（欄がたらない場合は別紙を付けてくだ

 さい）

　　・他に事業内容がわかるものがあれば添付してください。

収 支 予 算 （ 決 算 ） 書

【収入】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項　　目 | 金　額（円） | 内　　　　容 |
| 地域づくり応援事業補助金 | 250,000 | 津山市 |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
| 合　　計 | 250,000 |  |

【支出】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 費　　目 | 金　額（円） | 積　算　内　訳 |
| 報償費 | 48,000 | 交流会協力謝金：＠1,000/日×10名、事務協力謝金：＠800/ｈ×5ｈ/月×12月 |
| 旅費 | 16,000 | 講師招聘（岡山）：1,140円×2（往復）、地域づくり研修会参加旅費（島根県松江市）：5,700円×2（往復）他 |
| 需用費（消耗品費、印刷製本費等） | 100,000 | 会議用お茶＠110×15本×12回用紙：＠500×10包、プリンタートナー：＠6,000×1本、マジックペン：＠110×20本、ファイル：＠110×5冊、メモリ：1,980×1個　他アンケート印刷：400部（A4両面6枚＠50,000） |
| 役務費（通信運搬費、手数料、保険料等） | 30,000 | ハガキ＠62×100枚、切手：82×50枚イベント保険：＠80×200人　他 |
| 需用費 | 56000 | 【小地域ケア会議】多世代交流事業：炊出し材料費（80人分） |
| 合　　計 | 250,000 |  |

注）支出の積算内訳は必ずご記入ください。